



### お年寄りのくらしを支え、子育てを支援する街づくりを

日本共産党議員団 北岡 あや議員

**問** 介護保険料の41%の値上げは、高齢者の生活が崩壊しかねない。市民生活の実態をどう把握しているのか。

**答** 本市には、年金が主な収入である高齢者や低所得者が多く、保険料改定に伴う支払いについては大変厳しいものがあると認識している。低所得者については、市の独自減免制度などを活用しながら、きめ細かく対応していきたい。

**問** 学校給食は、食育を通して人間を育てるという視点が大事だと思うが、小学校給食に民間委託を導入する理由を聞きたい。

**答** 現在の調理水準を維持できる効率的な体制として、正規職員を集中的に配置する直営拠点校と民間委託校の併用方式により小学校給食を実施することとした。これにより、本市財政構造強化指針の経常経費の抑制を初め、より一層の小学校給食の充実が図られるものとする。



### 被災地のがれき処理並びに新中心市街地活性化基本計画等について

自由民主党議員団 田中 正繁議員

**問** 震災がれきの処理支援についての考えを聞きたい。

**答** 様々な課題をクリアして、市民の理解と協力を得ながら慎重に進めたい。

**問** 新中心市街地活性化基本計画策定の進捗状況と高齢者等の買い物対策について聞きたい。

**答** 新中心市街地活性化基本計画については、5年以内の実現可能な事業の構築に努めており、その後、都市計画決定作業に移ることになる。

高齢者等の買い物対策については、出張商店街の実証実験と買い物環境調査の結果に基づき、関係商店街等と今後の取り組みについて検討していく。

**問** 市民体育館の老朽化が進んでいるため、建てかえの準備に取り組むべきと思うがどうか。

**答** 市民の中核スポーツ施設であり、総合計画・財政計画との整合も図りながら、今後も検討していく。



### 雇用確保で人口流出を抑制し市民が希望を持てる大牟田へ

公明党議員団 平山 伸二議員

**問** 生産年齢人口の減少を食い止めるためには、雇用の場を確保することが最重要と考えるが、所見を聞きたい。

**答** 産業の振興による雇用の場の創出確保や、子育て支援などを初めとした施策を展開し、今後も引き続き、だれもが安心して住み続けることができるまちづくりに積極的に取り組んでいきたい。

**問** 国の実践的防災教育総合支援事業を活用して防災教育の推進を図ってほしいと考えるが、見解を聞きたい。

**答** 各学校において防災教育の全体計画の見直しに取り組んでいる。児童生徒の危険回避能力の育成、状況に応じた避難行動のあり方、学校防災体制の構築、関係機関との連携などについて充実を図っており、今後、県の動向を注視してさらなる充実に努めたい。



### 新大牟田駅のにぎわい創出と観光施設の有効活用を

自由民主党議員団 森 電子議員

**問** 新大牟田駅に設置される観光情報発信等施設は展示に重点を置くだけで、にぎわい創出には程遠くないか。また、レンタカーを置く計画はないのか。

**答** 同施設において的確な情報提供を行うことで、駅利用者の利便性を高めることを第1の目的としており、駅や地域が行うイベント等と連携して、本市の観光資源をPRするなどして、にぎわい創出に努めていく。

また、レンタカー誘致をJR九州に要望しており、今後も駅の利用促進に向けて取り組んでいく。

**問** 子供を取り巻く環境は複雑・多様化しており、不登校やいじめ問題解消のためにも、スクールソーシャルワーカーの活用時間や配置の拡大が必要と考えるがどうか。

**答** 24年度は県からの配置がなくなる。小中学校のPTA連合会等より配置を求める要望もあっていることから、市単独で配置できるよう検討を進める。